

6. 主な報道発表 (2024年11月1日以降)

<p>11月8日 ▼詳細な内容はこちら</p> 	<p>敦賀発電所 原子力事業者防災業務計画修正に伴う関係自治体との協議の開始について</p> <p>当社は、原子力災害対策特別措置法に基づき、敦賀発電所の原子力事業者防災業務計画について、毎年の見直し検討を行うとともに今年度の修正案を取りまとめ、11月8日より関係自治体との協議を開始しましたので、お知らせいたします。</p>
<p>11月13日 ▼詳細な内容はこちら</p> 	<p>(当社コメント) 敦賀発電所2号機の新規制基準適合性審査に係る原子力規制委員会の決定について</p> <p>本紙「1. 敦賀発電所の状況」に、主な内容を記載しています</p>

げんでんふれあいギャラリー展示

◆わたしたちのデイリースタイル No.25 12月10日(火)～12月15日(日)
(最終日は15:30まで)

たなか きみえ
ビーズ工房(代表:田中 喜美枝 様)の皆さまによる手作り作品展です。
紙バンドを使ったカバンや雑貨、ビーズのアクセサリ等を300点展示予定です。



◆2024 福井県小・中学生科学アカデミー賞優秀作品展 敦賀展
12月17日(火)～1月5日(日)

今年で31年目を迎える、福井県内の小・中学生の理科研究を審査する「科学アカデミー賞」
(主催:福井新聞社)に寄せられた作品の中から、上位入賞した作品を24点展示予定です。



お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 9:30～16:30 休館日 12月29日～1月3日



げんでんふれあいギャラリーのホームページはこちら

イベントブース出展のお知らせ

2024年12月イベント出展情報 お誘いあわせのうえ、是非お越しください。

第50回 福井県越前海岸水仙まつり

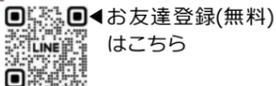
日時/イベント名	会場	内容
12月15日(日) 9:30～16:00 荒波フェスタ	河野シーサイドパーク (南越前町河野 1-89)	・写真キーホルダー (数量限定のため無くなり次第終了)

げんでん LINE 公式アカウント=お友達登録をお願いします=

当社では、LINE 公式アカウントの運用を2024年7月より始め、福井地区での当社イベント情報や敦賀発電所情報(以下①～⑤)などを発信しています。

是非、お友達登録をしていただき、最新情報をご覧下さい。

①当社イベント情報、②広報紙、③放射線モニタリングデータ、④プレス公表情報、⑤敦賀原子力館案内
その他に、お友達登録の皆さまのお楽しみとして、スタンプカード(ショップカード)があります。地域での当社イベントブースへの来場の他、敦賀原子力館、ふれあいギャラリー来場時に1ポイントを付与させていただきます。15ポイントでゴール到達となります。ゴール達成の方に特典を贈呈いたします。



本資料のお問合せ先: 日本原子力発電株式会社 (略称: げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部
TEL:0770-25-5713 住所: 敦賀市本町2丁目9-16

げんでん いんふおめーしょん 12月号

1. 敦賀発電所の状況 (2024年12月2日現在)

プラント(炉型)	状況
<p>1号機(沸騰水型)</p> 	<p>●2017年4月19日～廃止措置中(廃止措置期間:24年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2015年4月 営業運転終了 ○第6回定期事業者検査中(2024年3月27日～2025年3月上旬予定) ○建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事(2024年10月1日～) <p>廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。</p>
<p>2号機(加圧水型)</p> 	<p>電気出力116.0万kW、1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量1923.0億kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2011年8月29日～第18回定期検査中 ●新規制基準への適合性審査 <p>= 敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性審査について =</p>
<p>昨年8月31日、敦賀発電所2号機のK断層の活動性及び連続性に限定した設置変更許可申請の補正書を原子力規制委員会に提出後、8回の審査会合、2回の現地調査などで審査を進めていただきました。</p> <p>本年11月13日、原子力規制委員会が敦賀発電所2号機の敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性及び連続性について新規制基準に適合していると認められないことから、敦賀発電所2号機の設置変更許可申請に対して、許可をしないことを決定したことは、大変残念であります。</p> <p>当社としましては、敦賀発電所2号機の設置変更許可の再申請、稼働に向けて取り組んでまいります。申請に必要な追加調査の内容について、社外の専門家の意見も踏まえながら具体化してまいります。</p> <p>当社の取り組み状況等につきましては、立地自治体をはじめ、地域の皆さまへの情報発信に引き続き努めてまいります。</p> <p>(11月13日 当社ホームページでお知らせ済み)</p>	

2. 敦賀発電所3,4号機準備工事の状況 (2024年12月2日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続しています。



建設予定地の状況 (2024年11月25日撮影)

3. トピックス

敦賀発電所原子力総合防災訓練を実施

11月15日、敦賀発電所等において原子力総合防災訓練を実施しました。この訓練は、原子力災害発生時に敦賀発電所、本店、及び原子力事業所災害対策支援拠点等の原子力防災に係わるすべての組織が連携し、各々の活動が有効に機能することを確認する目的で行われました。

訓練には、当社、グループ会社及び協力会社など約290名が参加しました。

当日は、平日昼間の地震による敦賀発電所の発災を想定し、燃料プールの冷却水の注水訓練、負傷者発生時の救護訓練、また、関係機関（敦賀海上保安部殿と実施）との連携により、敦賀発電所1号岸壁に着岸した船舶からの資機材の受け入れ対応などの訓練を行いました。

また、敦賀総合研修センターに現地支援本部を設置し、発電所へ資機材を搬送することを想定した後方支援活動や、福祉車両による要配慮者避難支援活動などの訓練も行いました。

当社は、継続的に訓練を実施し、更なる安全向上に努めてまいります。



指揮を執る災害対策本部長（中央）の様子



水源確保のホース敷設訓練の様子



着岸した関係機関（敦賀海上保安部殿）の船舶から資機材を受け入れる訓練の様子



福祉車両による要配慮者避難支援訓練の様子

4. コミュニケーション活動

げんでんネクサス懇談会敦賀発電所見学会を実施

11月14日、げんでんネクサス懇談会※敦賀発電所見学会を行い、敦賀発電所2号機、同3,4号機建設予定地、破砕帯調査現場を見学いただき、理解を深めていただきました。

ネクサス委員の皆さまからは、「とても堅固で巨大な発電所であり、厳重な警備と停止中でも保守管理に多くの人に関わっており勉強になった。なかなか立ち入れない原子力発電所内に入り貴重な経験ができました。」など、多くの質問や感想、ご意見等をいただきました。

ネクサス委員の皆さまからいただきました貴重なご意見等は、今後もコミュニケーション活動をはじめとする様々な理解活動に役立ててまいります。

※当社は、1998年度より嶺北地区の有識者の皆さまから当社の事業運営やエネルギー・原子力についてご意見を伺う「げんでんネクサス懇談会」を実施しています。



敦賀2号機 タービン建屋見学の様子

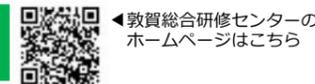


敦賀3,4号機 建設予定地見学の様子



破砕帯調査現場見学の様子

5. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



敦賀総合研修センターのホームページはこちら

敦賀総合研修センターでは、2024年度30コースの公開研修開催を予定しており、以下はお申込み期限間近となっている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細内容、応募方法並びに受講料につきましては、当社ホームページをご覧ください。 <https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/>

研修名	研修概要	研修期間	申込み期限
原子力安全基礎コース	原子力発電所に関する最新の規制体系、基準を理解するとともに、安全確保の仕組み（安全設計）や事故・トラブル時の評価（安全評価）及び過酷事故時の対策など、原子力の安全に係る事項を学びます。 1.5日のコース（1日目：基礎、2日目（午前）：過酷事故対策）ですが、どちらかの日だけの受講も可能です。	1月14日 ～ 1月15日（午前） （1.5日間）	12月5日
プラントシミュレータコース	原子力発電教育シミュレータを用いて、加圧水型軽水炉（PWR）と沸騰水型軽水炉（BWR）を比較しながらプラント起動操作や原子炉出力変更などの運転操作を模擬体験するとともに、原子力発電所の安全確保の仕組みを学びます。 2日間のコースですが、1日単位の受講も可能です。	1月21日【PWR編】 ～ 1月22日【BWR編】 （2日間）	12月12日
耐震安全コース	耐震設計の基礎（概論、地震動、新規制基準など）、原子力発電所の建築、土木構造物の耐震設計及びポンプ・容器・配管並びに電気盤などの耐震設計を学びます。 なお、受講者は地震・耐震に関する基礎的な知識を有していることが望ましい。	1月22日 ～ 1月23日 （2日間）	12月13日
原子力エネルギーコース	エネルギー資源を海外からの輸入に頼っている我が国の現状を理解し、福島第一原子力発電所の事故後の地球温暖化への対応を含めた我が国のエネルギー政策について学びます。	1月28日 （1日間）	12月19日
原子炉施設廃止措置コース	廃止措置の概要や法制度とともに、廃止措置の基礎となる放射能評価、廃棄物の処理・処分や解体撤去技術など、廃止措置の先行例を含め廃止措置の概要全般について学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	2月6日 ～ 2月7日 （2日間）	12月27日
安全文化コース	原子力産業界が取り組んでいる安全確保を最優先とする安全文化の醸成について、企業倫理・技術者倫理や不祥事・トラブル事例などを題材として学びます。 原子力産業に携わるすべての組織の方はもちろんのこと、企業による不祥事やトラブル事例が後を絶たない昨今の国内外事情に鑑みて、一般の方への受講もお勧めします。	2月13日（午後） ～ 2月14日 （1.5日間）	12月27日
原子力鋼材コース	原子力発電所の事故・トラブルでは、使用されている鋼材の性質が重要な意味を持つことがあります。 原子力発電所では色々な鋼材が使われており、主な鋼材の金属的な特徴、機械的な性質、鋼材の耐食性や破壊のメカニズムなどを学びます。 なお、受講者は鋼材に関する初歩的な知識を有していることが望ましい。 2日間のコースですが、1日単位の受講も可能です。	【基礎】 2月19日 【応用】 2月20日 （2日間）	1月10日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市^{くわみ}岩見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（研修申込み専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp

